

(様式1)

## 平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
県営富山弓道場 スポーツ振興課

2 施設所在地  
富山市茶屋町字山の下43-1

3 施設設置年度  
昭和54年度

4 設置目的  
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。

5 施設概要  
延床面積：704.99㎡ 鉄骨（一部木造）造平屋建  
（主な設備等）  
遠的場（6人立70m・夜間照明）  
近的場（10人立28m・夜間照明設備）  
会議室

6 指定管理者  
公益財団法人富山県体育協会

7 指定期間  
5年  
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
6,447	10,412	10,280	10,891	11,660

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H26	H27	H28	H29	H30
1,080	1,219	1,269	1,405	1,510

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H26	H27	H28	H29	H30
1,240	1,240	1,240	1,240	1,240

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・平成30年度は、大規模な大会(北信越高校総体)の開催や、ねんりんピック富山開催に伴う練習利用の増加、弓道教室の受講者の増加等により、利用者数・料金収入ともに増加した。
- ・引き続き、競技団体と連携するとともに、大学、高等学校の利用促進、合宿誘致に努め、利用者数・料金収入の増加に努めてもらいたい。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げに柔軟に対応した(繰上げ開館 33件)。
- ・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・平成30年度から新たに個人利用者向けにシニア料金(満65歳以上、通常料金より2割引)を設定した。
- ・弓道連盟等を通じ、弓道経験者、体験希望者に広くPRし、近隣大学、高校の利用や県外大学の合宿利用など、利用者増加を図った。
- ・自主事業として開催している弓道教室について、ホームページで広くPRしたことにより、利用者増につながった(受講者数:延べ1,355人)。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	実施期間: 通年 実施方法: 施設利用者、主催教室参加者に用紙を配布
回答者数	回答者数: 6人
結果	・施設全体の満足感 良い 83%、使いやすさ 良い 83%  ・意見・要望等 年間パスポートがあれば便利、試合時の待機場所が狭い 等
結果を踏まえた改善事項	年間パスポートの導入は困難であるが、利用者からの要望を踏まえ、平成30年度より新たにシニア料金を設定しており、利用しやすい料金体系となるよう工夫を行っている。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

競技団体からの要望聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。

#### ③ 主な苦情と対応

—

### (5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

- ・弓道連盟等との連携により、積極的に施設のPRを実施した。
- ・県弓道連盟、弓道教室受講者、弓道場利用者のボランティアの協力を得て、年末に大掃除を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は概ね適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・心肺蘇生法講習会を受講した職員を配置し、事故発生時の応急措置が行えるよう備えた。
- ・事故発生時の早急な対応のため緊急連絡網を作成している。
- ・施設内の事故防止策として、利用者に対して利用マナーと事故防止のための心得を掲示し、事故防止に努めた。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・競技性が高く、利用者が限られているが、弓道教室（自主事業）の実施による競技人口の増、施設PRによる合宿誘致など、引き続き、積極的な利用促進やサービス向上に取り組んでもらいたい。
- ・今後とも、利用者の意見・要望を踏まえ、より使いやすい施設となるよう、工夫した運営に努めてもらいたい。